

**第 23 回日本蛋白質科学会年会ランチョンセミナー LS1D**  
**2023 年 7 月 5 日(水) 12:00~12:50**  
**名古屋国際会議場 D 会場 (1 号館・3 階)**

**1. PDBj の最近の活動と wwPDB の今後の活動方針について**  
**Activity report of PDBj and activity plan of wwPDB**

**栗栖源嗣 (大阪大学蛋白質研究所)**  
**Genji Kurisu, Institute for Protein Research,**  
**Osaka University**

PDBj (<https://pdbj.org/>)は、worldwide PDB (wwPDB, <http://wwpdb.org/>)の設立メンバーとしてアジア・中東地区で決定された蛋白質等の生体高分子の構造を wwPDB が管理するコアアーカイブ (PDB, BMRB, EMDB) に登録処理し、国際的に協調して座標と実験データを全世界へ無償で公開しています。今回のセミナーでは、PDBj の最近の活動を報告するとともに、wwPDB が管理するコアアーカイブの今後の運営体制とデータ検証の方向性について説明します。また、PDBj が独自に始めた構造生物学実験の画像イメージ収集 (XRDa, MPIAR)や 相関構造解析への対応について紹介します。さらに 2022 年 wwPDB 運営諮問委員会で議論された今後の活用の方向性など、PDB に関する最近の状況を共有させていただきます。

**2. OneDep における PDB 登録のポイント**  
**Tips for PDB Deposition through OneDep System**

**丹羽智美 (大阪大学蛋白質研究所)**  
**Satomi Niwa, Institute for Protein Research,**  
**Osaka University**

OneDep は wwPDB における生体高分子の構造データの登録/アノテーション/検証システムです。登録は、ファイルのアップロードと必要情報入力だけで可能です。しかしながら、どこに何を書き込めばいいのかが分かりにくいという意見もしばしばいただきます。今回のセミナーでは、登録のポイントをアノテーションの目線で紹介します。また、この 3 月から ORCID ID を用いたログインおよび登録が可能となりました。このメリットやデメリットについても紹介します。